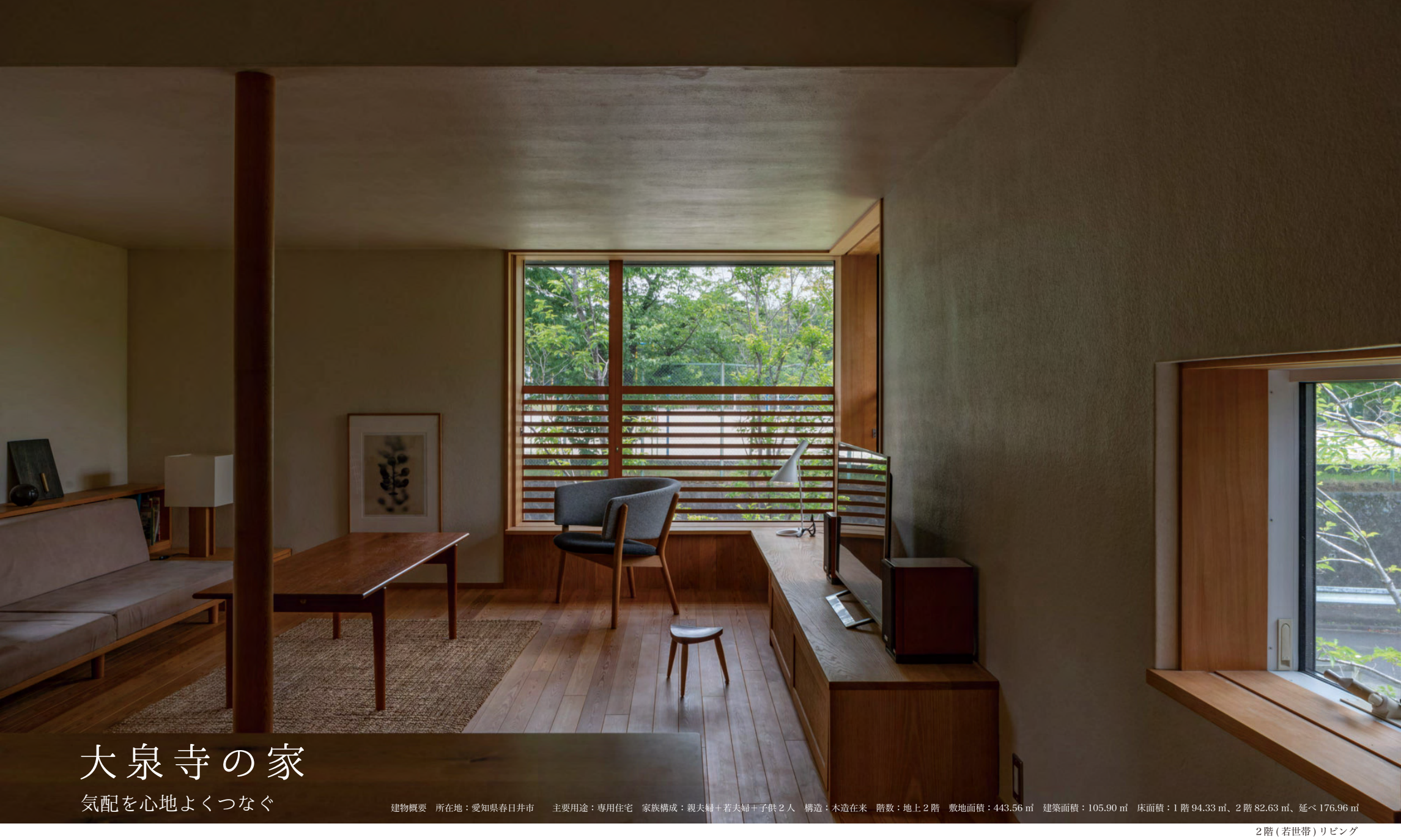


大泉寺の家

気配を心地よくつなぐ

建物概要　所在地：愛知県春日井市　主要用途：専用住宅　家族構成：親夫婦＋若夫婦＋子供２人　構造：木造在来　階数：地上２階　敷地面積：443.56 ㎡　建築面積：105.90 ㎡　床面積：1 階 94.33 ㎡、2 階 82.63 ㎡、延べ 176.96 ㎡

２階 (若世帯) リビング

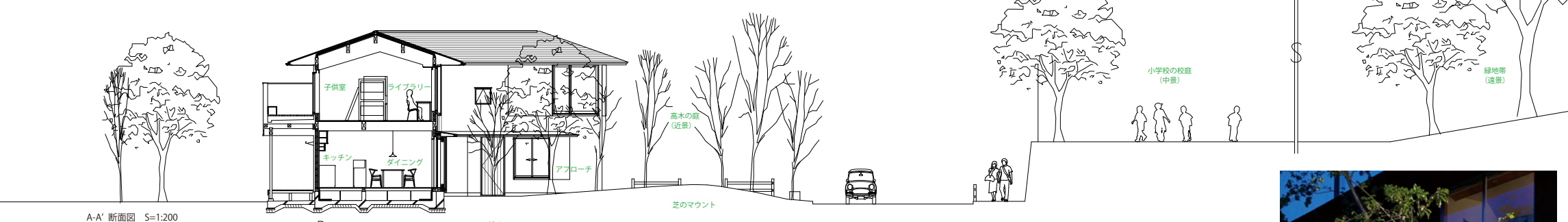
まちの気配を生活空間につなぐ

郊外にある、ゆったりとした敷地に建つ二世帯住宅。緑豊かなこの地域に馴染む建築とまちのよい関係を探った。２階 (若世帯) の生活空間を校庭とその先の緑地帯につなげ、高木の庭と半格子の建具でゆるやかな距離感を与える。くわえて道路との関係を腰壁でコントロールすることで、ちょうどよいまちの気配を取り込んでいる。1 階 (親世帯) のダイニングも低木と芝のマウント、柵も要素に加えて、まちとのいい距離感を探った。

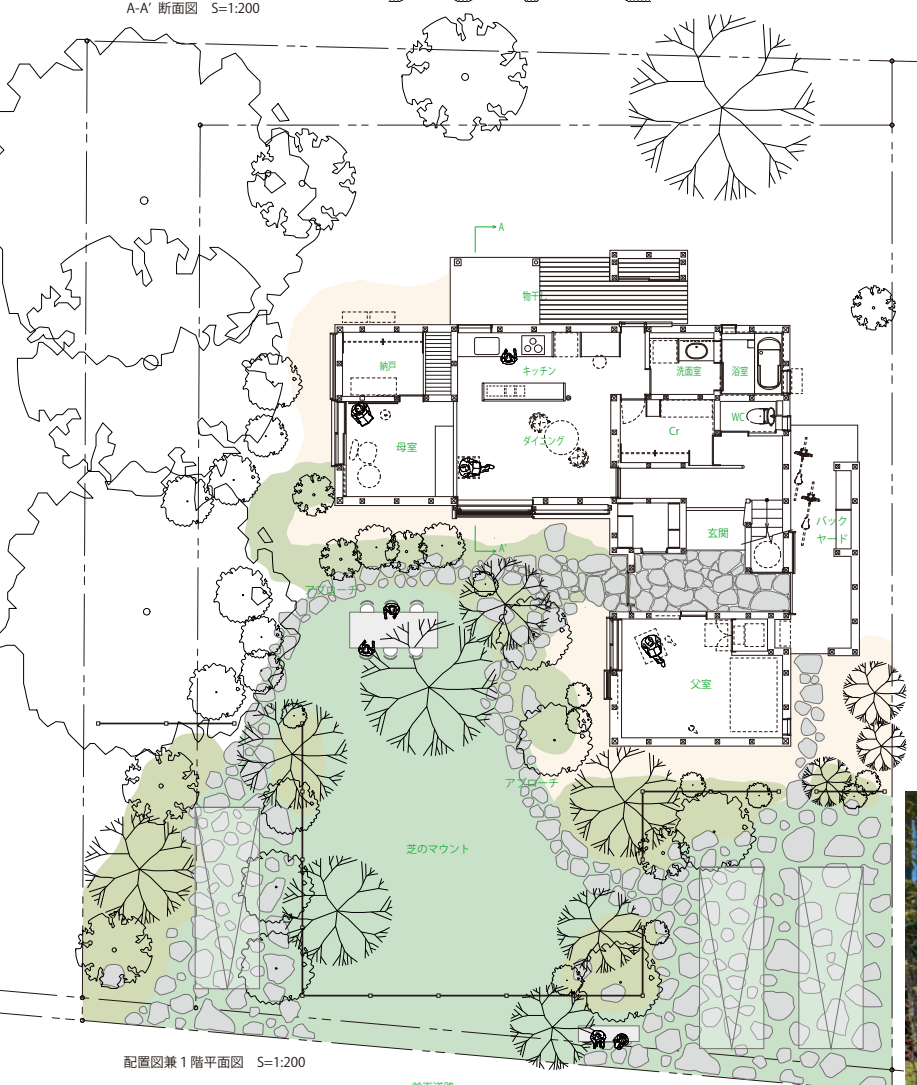
芝のマウント沿い、高木がつくり出す木陰に２つのアプローチを通し、コンクリートのテーブルやベンチなど、人の居場所となる仕掛けを散りばめ、暮らしがまちに溢れ出すことをさそう。それがまちの風景となり、豊かな住環境につながることを願う。

庭のコンクリートテーブルと親世帯ダイニングの関係

1 階 (親世帯) ダイニング、その奥の母室



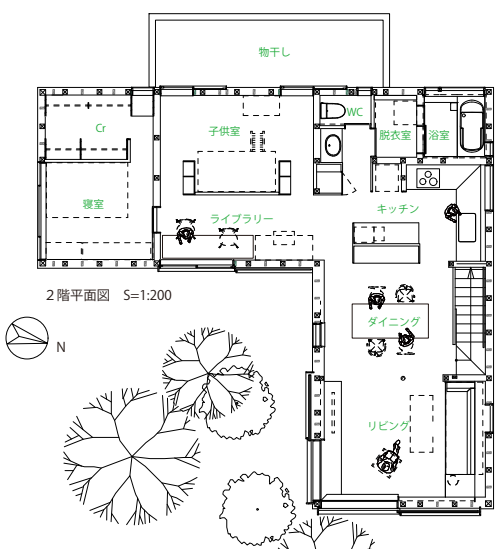
A-A′ 断面図　S=1:200



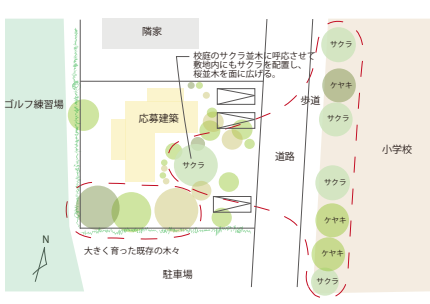
配置図兼 1 階平面図　S=1:200

二世帯間をほどよい気配でつなぐ

玄関のみを共有し、1 階と 2 階で分離した二世帯住宅。L 字に曲げたプランは上下階の気配が窓越しに感じとれる関係をつくる。
共用玄関からそれぞれの気配が少しだけ感じられる空間のつながりをつくっている。



2 階平面図　S=1:200

共用玄関から感じる親世帯の気配

上下階の気配が窓越しに感じとれる